

第 50 回もも脳ネット運用会議 議事録

開催日時：平成 30 年 3 月 20 日（火）19:00～20:00

開催場所：岡山赤十字病院 4 階研修室

議長：岩永 健（岡山赤十字病院）

書記：中野 佑美（岡山赤十字病院）

【出席者】

赤磐医師会病院（小幡 NS）

岡山医療センター（今川 MSW、森伊 NS）

岡山協立病院（中村 PT、山岡 MSW、木村事務）

岡山旭東病院（辻井 NS、白神 NS、山本 NS、平松 OT、渡辺事務）

岡山光南病院（松井 NS、内山 NS、平川 MSW、知野見 PT）

岡山済生会病院（石原 PT、新居事務、高中 NS、川上 DR、市川 MSW）

岡山西大寺病院（米田 PT、水上 PT、森川 MSW）

岡山市立市民病院（梅田 NS、大久保 MSW、西山 MSW、井上 NS）

岡山市立せのお病院（荻野 NS、矢敷 MSW）

岡山赤十字病院（岩永 DR、高木 DR、金丸 DR、高原 NS、尾本 NS、井並 NS、松野 NS、
徳永 NS、末永 NS、内藤 MSW、中野 MSW）

岡山赤十字病院玉野分院（四方 MSW）

岡山大学病院（中濱 NS）

岡山中央病院（佐栞 MSW）

岡山中央奉還町病院（小林 DR、津田 PT、古田 MSW）

岡山東部脳神経外科病院（山根 NS、柏 NS、河野 PT）

岡山東中央病院（安積事務）

岡山リハビリテーション病院（森田 DR、兒玉 MSW）

岡村一心堂病院（山本 NS、時長 OT）

梶木病院（吉田 NS、安保 MSW）

川崎医科大学総合医療センター（井上 DR、富田 MSW、潮 MSW、橋本 MSW、川上 MSW
山本 NS、岡本 NS、土師 NS）

金川病院（高塚 MSW）

草加病院（河井 NS）

倉敷記念病院（中野 MSW）

倉敷成人病センター（飛矢事務）
光生病院（石井 MSW、眞宮 MSW）
コープリハビリテーション病院（笹館事務）
済生会吉備病院（横田 PT、坪井 NS、岩藤 MSW）
佐藤病院（人見 PT）
しげい病院（高山 NS、村中 MSW）
重井医学研究所附属病院（松野事務）
高梁中央病院（石村 MSW、長江 PT）
田尻病院（河本事務）
玉野市立玉野市民病院（小松 PT、斉藤 NS、坂本 MSW）
たまメディカルリハビリテーションクリニック（佐伯事務）
津山第一病院（万代 PT、横山事務）
藤田病院（村上 PT、林 MSW、栄田 MSW）
竜操整形外科病院（室山 NS、坪田 MSW）
<在宅ワーキンググループ>
岡山市歯科医師会（角谷 DR）
岡山県歯科衛生士会（松尾 DH、武田 DH）
備前保健所 保健課（二宮所長、国富主任）
ケアマネ協会（丸田 CM、坂本 CM）

計	41 施設 101 名
医療機関	37 施設 94 名
在宅ワーキンググループ	4 施設 7 名

1. 運用状況報告

- ・大腿骨頸部骨折パス（岡山赤十字病院：高木医師）
平成 29 年 12 月から平成 30 年 2 月までのデータを集計
※頸部骨折運用状況（<http://momono-net.jp>）参照
- ・脳卒中パス（岡山赤十字病院：岩永医師）
平成 29 年 12 月から平成 30 年 2 月までのデータを集計
※脳卒中パス運用状況（<http://momono-net.jp>）参照

2. もも脳ネット理事会（2/20 開催）の報告

- ・脳卒中地域連携普及推進強化事業について（岡山赤十字病院：岩永医師）

平成 29 年 11 月 8 日に和気町の学びの館サエスタにて脳卒中地域連携講演会を開催した。岡山赤十字病院 岩永医師より脳卒中に関する講演、ひがし整形リハビリテーションクリニック 片岡医師より骨折に関する講演、NPO 法人岡山県ケアマネ協会 堀部会長より介護保険改正についての三部構成の講演であった。150 名（うちスタッフ 20 名）の方に参加していただき大盛況であった。職種は主にケアマネが多くその次に介護職も多かった。開催場所が岡山市外であったこともあり、普段岡山市内の研修に来られない方も参加していただけました。

平成 30 年 1 月 14 日に岡山市民会館にて他職種によるワールドカフェ・県民フォーラムを開催した。午前のワールドカフェでは、NPO 法人ケアマネ協会丸田ケアマネ・岡山赤十字病院 徳永師長より普段連携する上で困ることを提言してもらい、病院側と在宅側とがお互いの立場を知り相互理解を深めること、顔の見える関係の構築を目的に行った。看護師・ケアマネ・ソーシャルワーカーの参加者が多く比率にあまり偏りがなく参加してもらえたのがよかったと思われる。当初は 1 グループ 6 人で考えていたが、会場の都合上 1 グループ 8 人で行った。アンケートでは他機関と意見交換ができ今後に生かしていきたい、他職種の意見がきけてよかったなどの感想があった。

午後からの県民フォーラムでは、最初に岡山県備前保健所 二宮所長と岡山大学 山下先生にご挨拶をいただき、第一部では岡山赤十字病院と岡山光南病院で、病気発症時から入院そして在宅へ退院するまでの過程を劇にして発表した。第二部では第一部の内容の解説を含めた講演を行っていただいた。会場外でよろず・栄養体験・歯科・他職種の相談ブースを設置した。参加者は圧倒的に年配の女性が多く、中には看護学生も参加していた。以前と違うのが医療機関からのお知らせで参加した方も多くおられた。アンケートでは、講演内容が分かりやすかったという内容のものが多かった。

- ・大腿骨頸部骨折パスのファイルの運用について

（川崎医科大学総合医療センター：井上医師）

大腿骨頸部骨折パスにおいて脳卒中パスと同様にファイル運用することについて、青色のファイルを使用することで理事会と前回のもも脳ネット全体会議で承認を得た。前回のもも脳ネット全体会議以降で事務局に特に意見はなかったため、青色のファイルを使用することですすめていきたい。各病院で準備をお願いしたいが、青色の細かい色指定はないのでそれぞれの病院に任せる方向で運用をお願いしたい。

→岩永医師より、「ファイルは義務なのかどうか」の質問。

→井上医師より、「義務ではなくできればしてほしいが、費用もかかることなので各病院に運用は任せる」とのお答え。

3. その他

・川崎医科大学総合医療センター 井上医師より：

2月20日の理事会で、来年度の県民フォーラムについて幹事病院の岡山市民病院 出口医師より二点提案があった。

来年度の会場について、事業費が削減されてきていることもあり、岡山市民病院の多目的ホールを会場で行いたいと提案があった。

→理事会の承認を得たので、来年度の県民フォーラムは岡山市民病院で行う予定。

再来年度以降今後も県民フォーラムを続けていくかどうかの提案があった。→県民フォーラムは10年近く行っており、県南・東部の他施設が集まっての市民に対する啓発活動は類をみないことや他職種が集まって自主的に運営を行っていることもあり、今後も継続して行うことを理事会で再確認した。

・岡山リハビリテーション病院 森田 DR より：

急性期病院から連携先医療機関へ加算の算定ができていくかどうか、転院後にその都度連携先医療機関の医事課より急性期病院医事課へ連絡し確認している状況。その都度の確認も大変なので退院証明書に記載するなど伝え方を検討したほうがいいと思われる。

→次回のコア会議で検討。

急性期病院で連携先医療機関へ各種加算の算定有無の伝え方について各急性期病院でどのようにしているか次回のコア会議で報告する。

4. ミニレクチャー（NPO 法人岡山介護支援専門員協会：丸田ケアマネ）

平成30年度介護保険制度改正における変更について、医療現場における変化として以下の6点が挙げられる。

1. 入院時はケアマネジャーの氏名を伝えるよう利用者へ説明することを義務付ける
2. 入院時の情報持参を3日以内と7日以内で加算に差をつける（持参・FAX どちらでも可能）
3. 入院時の情報シート様式を標準化（厚労省）
4. 医療系サービスをプランに位置付ける時には指示をもらった主治医へサービス計画書（プラン）交付を義務付ける
5. 口腔に関する課題・服薬状況・利用者の状態等をヘルパー⇒ケアマネ⇒医師・歯科医

師・薬剤師への情報伝達を義務付ける

6. がん末期のプラン変更時は主治医の助言を得ていれば担当者会議開催は義務付けない

5. 今後の会議日程について

第31回 理事会

日時：平成30年5月22日（火）19:00

場所：川崎医科大学総合医療センター 5階カンファレンス室1

第51回もも脳ネット運用会議（運用総会）

日時：平成30年6月27日（水）19:00

場所：岡山医療センター

幹事病院：川崎医科大学総合医療センター